

【市長】

本日の案件は、3件でございます。

初めに、案件1「FIGHTERS 応援パーク 2026 の開催」について、ご説明いたします。

先日、北海道日本ハムファイターズファーム施設の本拠地道内移転に関し、「ファイターズスポーツ&エンターテイメント」の前沢新社長の就任記者会見において、候補地を恵庭市・江別市・苫小牧市の3市に絞ったとのお話しがございました。

昨年7月からファーム施設の誘致を進めてきた本市といたしましては、大変喜ばしいことであり、光栄に思っているところでございます。

本年6月には候補地を2か所に絞り込むとの報道もございましたので、引き続き、実現に向けて精力的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、3月27日金曜日には、市民文化ホールで「北海道日本ハムファイターズ2軍施設を誘致する会」(期成会)主催の「ファイターズ応援パーク 2026」が開催される予定となっており、共に誘致に取り組んでいただいております胆振・日高の力を結集し、北海道日本ハムファイターズ開幕戦のパブリックビューイングやグルメイベント、応援コンサートなどを企画されておりますので、多くの市民にご来場いただけるよう、私からもお願い申し上げます。

ファーム施設候補地選定までの残された期間、官民での連携や胆振・日高地域全体で更なる機運醸成に努めて、球団から「一緒にやるのは苫小牧市」と言ってもらえるよう全力で取り組んでまいります。

次に、案件2「JR 新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上」について、説明させていただきます。

新千歳空港のアクセス向上につきましては、今月11日に鈴木直道

北海道知事が、国土交通省へ要望したと伺っております。

本市としましては、新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上につきまして、平成4年から30年以上要望を継続してきた経過がございますが、ラピダス株式会社や大規模データセンターの立地といった追い風、さらには北海道日本ハムファイターズファーム施設誘致のチャレンジ等、まさしく、今こそ、空港アクセス向上が実現されるべきタイミングであると考えております。

これらを踏まえ、今年17日、佐々木紀(はじめ)国土交通副大臣に対し、改めて、

①新千歳空港駅から、苫小牧方面へ鉄路のスルー化を実現すること。

②スルー化が実現するまでの間、乗換えの拠点となっている南千歳駅と苫小牧駅の間の特急列車を増便すること。具体的には、現在1時間に1本の運行であるところ、30分に1本の運行の増便を図ること。この2点につきまして、直接、要望させていただいたものであります。

なお、本要望に対しまして、新千歳空港駅のアクセス向上は進めなくてはならないものであるから、北海道、さらには当市の趣旨に賛同をいただける自治体としっかり連携して進めていくように、と助言をいただいたものでございます。

本市としましては、いただいた助言を踏まえ、北海道等と緊密に協議をさせていただき、スルー化の実現はもとより、新千歳空港へのアクセス向上の実現に向けて、私自身が先頭に立ち、スピード感をもって取り組んでまいります。

次に、案件3「こども どもんなかアクション」フィナーレイベントの開催について、ご説明いたします。

市では、今年度「選ばれるまち」プロジェクトとして「こども どもんなか アクション」を展開してまいりましたが、フィナーレイベントとして、こども家庭庁の後援をいただき「こども未来シンポジウム」を3月28日(土)14時からアートキューブズ「マルチホー

ル」を会場に開催いたします。

詳細は記者会見資料2の裏面をお願いいたします。

本シンポジウムは、国が全国的に展開する「こどもまんなかリレーシンポジウム」としても位置付けられており、第一部では、精神科医の樺沢紫苑（かばさわしおん）先生による基調講演、第二部では、地域企業・団体等の皆様とともに「こどもまんなか応援サポーター宣言」など、多彩なプログラムを用意し、市民の皆様「こどもどまんなか」を再認識していただきたいと考えております。

市としましては、新年度から新たな組織である「こども未来部」を中心に、すべての子どもや子育て世代を支える取組を継続することで、この機運を引き継いでまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。